

様式1

決 裁 理事長
/

院長	顧問	顧問	副院長	副院長	副院長	副院長	事務長	受領者
/	/	/	/	/	/	/	/	/

小山記念病院倫理審査申請書

2025 年 6 月 24 日

小山記念病院倫理委員会委員長 殿

申請者

小林 礼子



小山記念病院倫理委員会規定による審査を申請します。

1.課題名	
急性期病院における訪問診療の質の評価 ～GDI(Good Death Inventory):遺族の評価による終末期患者のQOL評価尺度を用いて～	
2.代表者名	所属
小林礼子	患者サポートセンター/がん相談
3.共同担当者名※共同の場合のみ	所属
4.概要(具体的に記載すること)	
〔1〕目 的 GDI(Good Death Inventory):遺族の評価による終末期患者のQOL評価尺度を用いて、終末期がん患者が在宅で受けた医療の質の評価を行い、課題を明確にし今後の実践につなげる	

研究計画書

提出日 2025 年 6 月 16 日

1. 研究代表者氏名	小林礼子
2. 研究テーマ	急性期病院における訪問診療の質の評価 ～GDI (Good Death Inventory) : 遺族の評価による終末期がん患者の QOL 評価尺度を用いて～
3. 研究の意義・背景	日本は超高齢社会であり、2008 年に 1 億 2800 万人とピークを迎えた総人口は 2040 年には 1 億 1000 万人、2060 年には 8674 万人へ減少すると計測され、出生数も 2022 年 77 万 0759 人と減少する一方、2025 年団塊の世代が全員 75 才以上となり少子高齢・多死社会を迎える時代となっている。 令和 5 年の死亡数の年次推移からみると、年間死亡数は 166 万人と最多の中、悪性新生物（腫瘍）は一貫として上昇しており、昭和 56 年以降死因順位 1 位、令和 5 年の全死亡者に占める割合は 24.3%となっている¹⁾ 2018 年ホスピス・緩和ケアに関する意識調査では全国 1000 人に人生の最期を自宅で迎えたいと思っている人が 7 割希望²⁾し、また平成 24 年度内閣府の高齢者の健康に対する意識調査でも 54.6%が自宅で最期を迎えたいと希望している。しかし、2013 年のデータでは在宅死が 12.9%³⁾であり、がん患者が自宅で最期を迎えるための体制が十分ではないと思われる。 自施設の地域では、24 時間体制の訪問診療医師が不足していることで、在宅で最期を迎えられず、病院で看取らざるを得ない状況が少なくない。そこで、7 年前から緩和ケア科医師と緩和ケア認定看護師で訪問診療を開始した。 コロナ禍による面会制限もあり在宅看取りの需要は増え、令和 6 年は 55 名の在宅看取りを行った。 今後も需要が増えることが予測されることから、現時点での在宅看取りの質を評価し、課題を明らかにしたので報告する。
4. 研究目的	GDI (Good Death inventory) : 遺族の評価による終末期がん患者の QOL 評価尺度を用いて終末期がん患者が在宅で受けた医療の質の評価を行い課題を明確にし、今後の実践につなげる
5. 研究方法	
1) 研究対象者	自施設の訪問診療を受け在宅看取りを行った患者・そのご遺族
2) データ収集期間	2025 年 6 月 16 日～7 月 8 日
3) 研究の種類	研究デザイン：アンケート調査
4) データの収集方法・内容・手順	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日、がん死亡された患者 55 名のご遺族を対象に GDI (Good Death Inventory) : 遺族の評価による終末期がん患者の QOL 評価尺度を用いて自由記載欄を設けて郵送調査法にて実施し、結果を分析した
6. 倫理的配慮	本研究は筆者の所属施設倫理委員会の承認を受けて実施した。研究対象者には文書及び口頭で、研究内容、学会発表や論文での報告に使用する可能性、個人情報保護に関する配慮、自由意思での研究参加等の説明を実施し、同意を得た。利益相反に関する報告事項はない。
引用・参考文献	引用文献 1・3) 厚労省の HP 参照

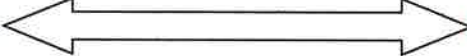
	(https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai16/index.html) 2) ホスピス財団の意識調査 2018 年参照 (https://www.hospat.org/assets/templates/hospat/pdf/ishikichousa-2018.pdf) 3) GDI (Good Death Inventory) : 遺族の評価による終末期がん患者の QOL 評価尺度 (http://www.pctool.umin.jp/gdi_manual.pdf) 参考文献 1) 家族ニーズからみた在宅緩和ケアの課題—遺族調査における自由回答データから分析 2) 在宅緩和ケアを受けた終末期がん患者の実態調査 3) がん患者の人生の最終段階の療養場所の実態調査結果 5万人の遺族から見た全体像の公表
6. 結果の公表予定	2026 年 2 月 日本がん看護学会

～アンケート用紙～

患者様が、小山記念病院の訪問診療中に受けられた医療について、お聞きします。

患者様は療養生活をどのようにお感じになられていたと思われますか。

最も近い番号に○をおつけください。

不満							満足	
全く そう 思わ な	そう 思う	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も 言 え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う		

【体や心のつらさがやわらげられていること】

● 患者様は痛みが少なく過ごせた	1	2	3	4	5	6	7
● 体の苦痛が少なく過ごせた	1	2	3	4	5	6	7
● おだやかな気持ちで過ごせた	1	2	3	4	5	6	7

【望んだ場所で過ごすこと】

● 患者様は望んだ場所で過ごせた	1	2	3	4	5	6	7
● 望んだ場所で最期を迎えられた	1	2	3	4	5	6	7
● 療養した場所は患者様の意向にそっていた	1	2	3	4	5	6	7

【希望や楽しみをもって過ごすこと】

● 患者様は希望をもって過ごせた	1	2	3	4	5	6	7
● 楽しみになるようなことがあった	1	2	3	4	5	6	7
● 明るさをもって過ごせた	1	2	3	4	5	6	7

【医師や看護師を信頼できること】

● 患者様は医師を信頼していた	1	2	3	4	5	6	7
● 安心できる看護師がいた	1	2	3	4	5	6	7
● 医療者は気持ちをわかってくれた	1	2	3	4	5	6	7

【家族や他人の負担にならないこと】

● 患者様は家族の負担になって辛いと感じ	1	2	3	4	5	6	7
● 人に迷惑をかけて辛いと感じていた	1	2	3	4	5	6	7
● 経済的な負担をかけて辛いと感じていた	1	2	3	4	5	6	7

【ご家族やご友人と良い関係でいること】

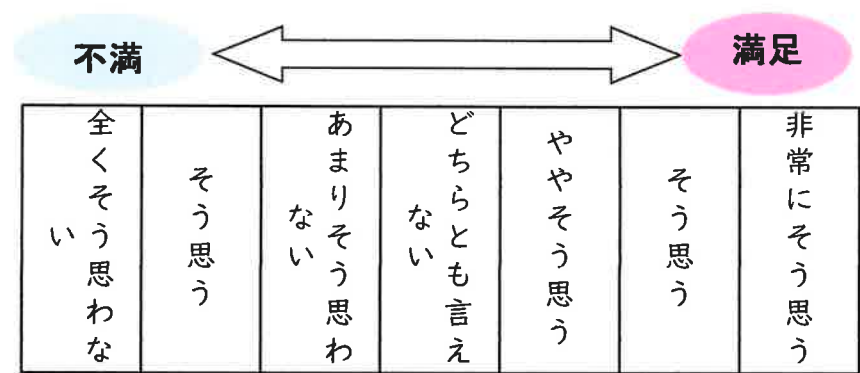
● 患者様はご家族やご友人と十分に時間を	1	2	3	4	5	6	7
● ご家族やご友人に十分に気持ちを伝えられた	1	2	3	4	5	6	7
● ご家族やご友人から支えられてた	1	2	3	4	5	6	7

【自分のことが自分でできること】

● 患者様は身の回りのことはたいてい自分で	1	2	3	4	5	6	7
● 移動や起き上がりが自分でできない辛さは	1	2	3	4	5	6	7
● トイレや排泄について困ることがなかった	1	2	3	4	5	6	7

【落ち着いた環境で過ごすこと】

● 患者様は落ち着いた環境で過ごせた	1	2	3	4	5	6	7
● 静かな環境で過ごせた	1	2	3	4	5	6	7
● 自由で人に気兼ねしない環境で過ごせた	1	2	3	4	5	6	7



【落ち着いた環境で過ごすこと】

● 患者様は落ち着いた環境で過ごせた	1	2	3	4	5	6	7
● 静かな環境で過ごせた	1	2	3	4	5	6	7
● 自由で人に気兼ねしない環境で過ごせた	1	2	3	4	5	6	7

【人として大切にされること】

● 患者様は人として大切にされていた	1	2	3	4	5	6	7
● 「もの」や子供扱いされることはなかった	1	2	3	4	5	6	7
● 生き方や価値観が尊重されていた	1	2	3	4	5	6	7

【人生を全うしたと感じられること】

● 患者様は人生を全うしたと感じていた	1	2	3	4	5	6	7
● 充実した人生だと感じていた	1	2	3	4	5	6	7
● ところ残りが無いと感じていた	1	2	3	4	5	6	7

【できるだけ治療を受けること】

● 患者様はできるだけ治療はしたと感じ	1	2	3	4	5	6	7
● 十分に病気とたたかうことができた	1	2	3	4	5	6	7

【自然なかたちで過ごせること】

● 必要以上に機械やチューブにつながれなかった	1	2	3	4	5	6	7
● 希望していない治療を無理に受けることがなかった	1	2	3	4	5	6	7

【伝えたいことを伝えておけること】

● 会いたい人に会っておけた	1	2	3	4	5	6	7
● まわりの人に感謝の気持ちを伝えられた	1	2	3	4	5	6	7

【先ずきのことを自分で決められること】

● 自分が参加して治療方針を決められた	1	2	3	4	5	6	7
● 医師から予想される経過や時間（余命）	1	2	3	4	5	6	7

【病気や死を意識しないで過ごすこと】

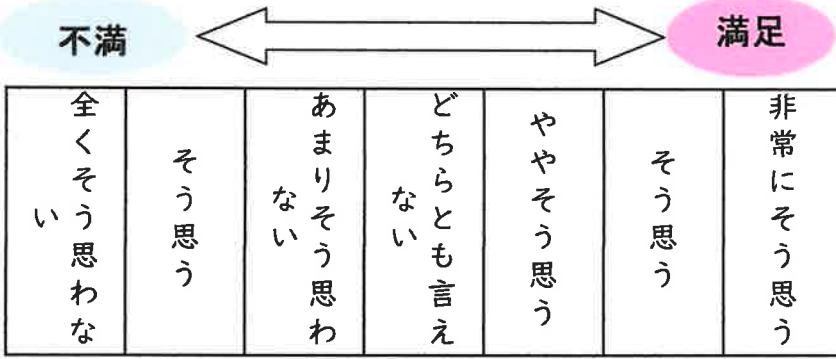
● 病期や死を意識せず、なるべく普段に近い毎日	1	2	3	4	5	6	7
● 病状について、知りたくないことは聞かずに	1	2	3	4	5	6	7

【他人に弱った姿を見せないこと】

● 容姿が変わってしまい、辛いと感じていた	1	2	3	4	5	6	7
● 他人から同僚やあわれみを受けて辛いと感じていた	1	2	3	4	5	6	7

【生きていることに価値を感じられること】

● 患者様は仕事や家族としての役割を果たせた	1	2	3	4	5	6	7
● 人の役に立っていると感じられた	1	2	3	4	5	6	7



【信仰に支えられていること】

● 信仰に従って過ごすことができた	1	2	3	4	5	6	7
● 自分を越えた何かに守られていると感じられた	1	2	3	4	5	6	7

●ご自宅でお看取りできて良かった	1	2	3	4	5	6	7
------------------	---	---	---	---	---	---	---

その理由をお聞かせください

【ご自宅での療養中、良かったこと、改善してほしかったこと等、自由に記載してください】

★当院の医師・看護師、訪問看護師等への対応への思いについても記載してください

1. 良かったこと

2. 改善してほしいこと

3. ご記入してくださった方の事をお聞かせください

① 患者様との続柄：（ ） 例：夫・妻・息子・娘・孫など

② ご記入されている方の年齢：（ 歳）

4. 自由記載

アンケートのご協力ありがとうございました。

今後のケアの質の向上に、スタッフ一同全力を尽くしていきたいと思っています。

お手数だとは思いますが、アンケートのご協力と、同封してあります封筒にて返信していただけますよう、お願い申し上げます。体調を崩されませんように、御身体を大切になさってください。